

2月の行事予定

遊びの中で育つ

「校長先生、お昼休み外で一緒に遊ぼう」と一年生の子どもたちからの誘い。とっても嬉しくてふたつ返事で「いいよ～」と答えた私。ある日の遊びはドッジボール。私は、どうするかな～と子どもたちの様子を見ていました。すると、「線、引かんといけんよね」と言いながら、足で線を引き始めたAさん。「ちょっとゆがんどるよ～」と言いながら、線を引き直し始めたBさん。「ここまで引いてよ～」とコートの大さを指示するCさん。「グループ分けはグーとパーで決めよう」とDさん。「帽子の色も変えんといけんわ」とEさん。なんとそれぞれに意見を出し合い手分けをして準備が始まりました。ところが…グループ分けがなかなかうまくいきません。グー、パーで分かれるのだけれど、なかなか同じ人数に分かれませんか。なにせ奇数人数だったので、どうするかなあ…と。でも、ここはぐっと我慢して子どもたちの様子を見てみると、「入れてえ」と一人入ってきました。なんというグッドタイミング！こうして、なんとかゲームが始まりました。ゲームをしても、当たった、当たってないと揉め事が始まりました。すると、周りで見ていた子どもたちが次々と助け船を出してくれて、一件落着！こうした経験を積んでいくことで、どんどん人と関わっていく力が伸びていくんだと改めて実感しました。

ドッジボールで遊ぶということ一つとっても、なかなかドラマがあります。でも、それでいいと思います。大人が介入しないで、子どもたちで考えを出し合い、やってみて、上手いかなかったらまた知恵を出し合ってやってみる。そんなプロセスがとっても大事だと思っています。ゲーム等のバーチャルの世界では、実感を伴うことが難しいですよ。やはりライブで行動してみる。子どもが、満足いくまでどっぷりと遊びに浸る時間を大切にしていきたいなと思います。学校はそれができる場所だと改めて実感したエピソードでした。



寒くたってへっちゃら！

朝夕がとても寒くなってきました。風邪をひかない元気な体をつくるために、週に1回業間休みにマラソンに取り組んでいます。「5周走ったよ！」「僕は6周！」など自分のペースで走っています。走った後は体がポカポカしてとっても気持ちがいいです！私も鉛のような体に鞭打ってがんばって走ろうと思います。



日	曜	行 事
1	水	入学説明会・新1年一日入学 13:00～14:40
2	木	業間マラソン
3	金	地域安全マップ作り(3年生)
4	土	
5	日	
6	月	全校朝会 計算タイムウイーク 委員会
7	火	ALT 第2回すこやか委員会 13:40～15:10
8	水	
9	木	SC牧野寛先生 13:30～17:00
10	金	
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	
14	火	ALT・英語タイム
15	水	長縄チャレンジ10:35～
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	校納金引落日
21	火	ALT・英語タイム
22	水	参観・懇談14:05～
23	木	天皇誕生日
24	金	6年生を送る会 ・ いきいき班解散式
25	土	
26	日	
27	月	クラブ(見学)
28	火	ALT・英語タイム



地域の皆さん、いつも登下校の見守りをしてくださってありがとうございます。



裏面あり

東京パラリンピックの井上選手と交流したよ！



1月13日に、東京パラリンピックで卓球の競技に出場された、井上全悠（いのうえまさちか）選手が、私たちの学校に来てくださいました。令和元年度にも、御津南小学校と交流授業をしていただいたので、4年生以上の子どもたちは2度目の再会です。去年の夏休み前に、運営委員会の子どもたちが中心になって、「井上選手に応援メッセージを書こう」と呼びかけてくれました。私は、前教頭の信江先生と一緒に、みんなのメッセージを持って井上選手のご自宅まで届けに行ってきました。

井上選手は、岡山県倉敷市のご出身です。赤ちゃんの時に交通事故に遭い、両足が不自由になりました。お医者さんからは、「車いすか寝たきり」と言われたそうなのですが、リハビリを経て自分の足で歩けるようになったのだそうです。みんなと同じように思いっきり走ったり、跳んだりできなくて、きっと苦しくて、悔しくて、つらい思いもたくさんされたと思います。でも、卓球に出会い、そこに自分の頑張る居場所を見つけられました。日本国内だけでなく海外でも試合をされ、たくさん優勝もされておられます。2019年には世界ランキングで16位という成績も残されました。自分のことを、「負けず嫌いで、できるまで頑張る性格」と言われていますが、苦しい練習にも耐え、頑張って練習したことで、東京パラリンピック日本代表選手に選ばれるまで成長されたのは、とてもすごいことだと思います。当日は、「ご自分の障害とどう向き合って来られたのか」、また「夢に向かって頑張ることの大切さ」や、「パラリンピックでの体験を通してどのようなことを感じられたのか」お話をいただきました。一緒に卓球体験もさせていただいて（私も！）、子どもたちは大喜びでした。井上選手とこれからも交流できたらいいなと思っています。

